学校番号	328

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語スーパー演習	2	第３学年	英語長文 Concerto No.4 Advanced 入試完成編

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語スーパー演習」では、多様なテーマで書かれた英文の読解を中心としている。速読力と精読力の両方の強化を目的としている。
予習として、英文の概要を捉え、単語・熟語は辞書で調べる。復習として、文章の論理構造を正しく理解したうえで、要約をする。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・なじみのあるトピックであれば、自然な速さで話されるスピーチや会話を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。 ・自然な速さで話されるテレビ番組や映画の中での会話の要点を理解することができる。	・難しい部分を読み返すなどしながら、なじみのある分野であれば、説明書や操作マニュアルなどを理解することができる。 ・現代社会における問題など関心の高いトピックを扱った文章を読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。	・身近なトピックに関して、自分の意見を理由や根拠とともに表明し、円滑に会話を進めることができる。 ・なじみのある話題であれば、新聞で読んだりテレビで見たニュースの内容について議論したりすることができる。	・社会的な話題に関するプレゼンテーションを行うとともに、聴衆からの質問にも流暢に対応できる。 ・ディベートなどで、興味や関心のある話題であれば、自分の主張を明確に述べることができる。	・メールや手紙などの文章を、報告や依頼などの目的に応じた適切な文体で書くことができる。 ・なじみのある社会的な話題について、複数の情報源から統合して情報や議論を整理しながら、それに対する意見や考えを、根拠を示しつつ、幅広い語彙や複雑な文構造をある程度用いながら、まとまりのある文章でエッセイやレポートを書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論理的な文章の構造に関する知識を身に付ける。英語の語彙、表現、文法の理解を深め、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、書き手の意図などを的確に理解したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。	社会的で多様なテーマで書かれた文章の背景にある文化に対する理解を深めようとする態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1 学期	Section1~3	聞くこと	a: 正しく英文を聞き取ることができる。 b: 題材についての英文を聞き取り、概要を捉えることができる。 c: 題材の概要を捉えるために必要な情報を聞き取ろうとしている。	・授業での取り組み ・評価問題 ・パフォーマンステスト ・定期考査
		読むこと	a: 句読法・意味のまとまりを理解している。 b: 句読法や意味のまとまりを理解したうえで、英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振りを意識するなど発表のやり方についての知識がある。 b: 題材についての自分の意見を相手の理解を確認しながら適切な発言をすることができる。 c: 概要をまとめたメモを活用して、自分の考えを伝えるようとしている。	
		書くこと	a: 句読法・意味のまとまりに関する知識がある。 b: 題材についての自分の考えを句読法・意味のまとまりに注意して書くことができる。 c: 題材に関する自分の考えを伝えようとしている。	
	中間考査			
	Section4~6	聞くこと	a: 正しく英文を聞き取ることができる。 b: 題材についての英文を聞き取り、概要を捉えることができる。 c: 題材の概要を捉えるために必要な情報を聞き取ろうとしている。	・授業での取り組み ・評価問題 ・パフォーマンステスト ・定期考査
		読むこと	a: 事実と意見を整理するための知識、原因と結果の関係を理解する知識がある。 b: 事実と意見を整理したり、原因と結果の関係を整理したりしたうえで、英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振りを意識するなど発表のやり方についての知識がある。 b: 題材についての自分の意見を相手の理解を確認しながら適切な発言をすることができる。 c: 概要をまとめたメモを活用して、自分の考えを伝えるようとしている。	
		書くこと	a. 事実と意見を区別する方法に関する知識がある。さらにパラグラフ間の関係（原因と結果）に関する知識がある。 b: 事実と意見を区別する方法に注意して英語を書くことができる。さらにパラグラフ間の関係（原因と結果）を理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材に関する自分の考えを伝えようとしている。	
	期末考査			
2 学期	Section7~10	聞くこと	a: 正しく英文を聞き取ることができる。 b: 題材についての英文を聞き取り、概要を捉えることができる。 c: 題材の概要を捉えるために必要な情報を聞き取ろうとしている。	・授業での取り組み ・評価問題 ・パフォーマンステスト ・定期考査
		読むこと	a: 例示や因果関係などを表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 b: 例示や因果関係などを表すディスコースマーカーの意味や働きを理解し、英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振りを意識するなど発表のやり方についての知識がある。 b: 題材についての自分の意見を相手の理解を確認しながら適切な発言をすることができる。 c: 概要をまとめたメモを活用して、自分の考えを伝えるようとしている。	
		書くこと	a: 例示や因果関係などを表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 b: 例示や因果関係などを表すディスコースマーカーの意味や働きを理解し、それらの知識を活用して英語を書くことができる。	

			c: 題材に関する自分の考えを伝えようとしている。	
	中間考査			
	Section11~14	聞くこと	a: 正しく英文を聞き取ることができる。 b: 題材についての英文を聞き取り、概要を捉えることができる。 c: 題材の概要を捉えるために必要な情報を聞き取ろうとしている。	・授業での取り組み ・評価問題 ・パフォーマンステスト ・定期考査
		読むこと	a: パラグラフ間の関係（時間的順序・因果関係）についての知識がある。 b: パラグラフ間の関係（時間的順序・因果関係）についての知識を活用して、文章の概要を捉えた上で、題材についての内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振りを意識するなど発表のやり方についての知識がある。 b: 題材についての自分の意見を相手の理解を確認しながら適切な発言をすることができる。 c: 概要をまとめたメモを活用して、自分の考えを伝えるようとしている。	
		書くこと	a: パラグラフ間の関係（時間的順序・因果関係）についての知識がある。 b: パラグラフ間の関係（時間的順序・因果関係）についての知識を活用して、文章の概要を捉え、適切に要約をすることができる。 c: 題材に関する自分の考えを伝えようとしている。	
	期末考査			
3 学期	Section15~17	聞くこと	a: 正しく英文を聞き取ることができる。 b: 題材についての英文を聞き取り、概要を捉えることができる。 c: 題材の概要を捉えるために必要な情報を聞き取ろうとしている。	・授業での取り組み ・評価問題 ・パフォーマンステスト ・定期考査
		読むこと	a: 事実と意見を整理するための知識、原因と結果の関係を理解する知識がある。 b: 事実と意見を整理したり、原因と結果の関係を整理したりしたうえで、英文を読んで内容を読み取ることができる。 c: 題材についての内容を読み取ろうとしている。	
		話すこと	a: 姿勢やアイコンタクト、適切な身振りを意識するなど発表のやり方についての知識がある。 b: 題材についての自分の意見を相手の理解を確認しながら適切な発言をすることができる。 c: 概要をまとめたメモを活用して、自分の考えを伝えるようとしている。	
		書くこと	a. 事実と意見を区別する方法に関する知識がある。さらにパラグラフ間の関係（原因と結果）に関する知識がある。 b: 事実と意見を区別する方法に注意して英語を書くことができる。さらにパラグラフ間の関係（原因と結果）を理解し、その知識を役立てて英語を書くことができる。 c: 題材に関する自分の考えを伝えようとしている。	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度